

令和4年度に開発した新品種について

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センターは、国有林野事業及び関係都道府県と連携して下記の36品種を開発しました。

花粉症対策品種 6系統

（東北育種基本区） 3系統

無花粉スギ 青森不稔5号 ※1

無花粉スギ 青森不稔38号 ※2

無花粉スギ 青森不稔46号 ※2

（関東育種基本区） 3系統

無花粉スギ 三月晴不稔3号 ※3

無花粉スギ 心晴れ不稔3号 ※4

無花粉スギ 心晴れ不稔4号 ※4

初期成長に優れた第二世代品種 5系統

（関東育種基本区） 5系統

初期成長に優れた第二世代品種 (F) スギ林育 2-31

初期成長に優れた第二世代品種 (F) スギ林育 2-213

初期成長に優れた第二世代品種 (F) スギ林育 2-214

初期成長に優れた第二世代品種 (F) スギ林育 2-219

初期成長に優れた第二世代品種 (F) スギ林育 2-235

マツノザイセンチュウ抵抗性品種 25系統

（東北育種基本区） 8系統

マツノザイセンチュウ抵抗性 岩手（花泉）アカマツ 75号

マツノザイセンチュウ抵抗性 岩手（花泉）アカマツ 99号

マツノザイセンチュウ抵抗性 岩手（花泉）アカマツ 126号

マツノザイセンチュウ抵抗性 岩手（藤沢）アカマツ 46号

マツノザイセンチュウ抵抗性 秋田（若美）クロマツ 222号

マツノザイセンチュウ抵抗性 山形（酒田）クロマツ 263号

マツノザイセンチュウ抵抗性 山形（鶴岡）クロマツ 41号

マツノザイセンチュウ抵抗性 新潟（長岡）クロマツ 12号

（関東育種基本区） 3系統

マツノザイセンチュウ抵抗性 千葉（成東）クロマツ 14 号 ※5
マツノザイセンチュウ抵抗性 愛知（田原）クロマツ 51 号
マツノザイセンチュウ抵抗性 愛知（田原）クロマツ 60 号

（関西育種基本区） 7 系統

マツノザイセンチュウ抵抗性 高知（香美）アカマツ 32 号 ※6
マツノザイセンチュウ抵抗性 高知（香美）アカマツ 33 号 ※6
マツノザイセンチュウ抵抗性 高知（香美）アカマツ 34 号 ※6
マツノザイセンチュウ抵抗性 高知（香美）アカマツ 35 号 ※6
マツノザイセンチュウ抵抗性 高知（香美）アカマツ 36 号 ※6
マツノザイセンチュウ抵抗性 高知（香美）アカマツ 37 号 ※6
マツノザイセンチュウ抵抗性 高知（香美）アカマツ 38 号 ※6

（九州育種基本区） 7 系統

マツノザイセンチュウ抵抗性 福岡（築上）クロマツ 9 号
マツノザイセンチュウ抵抗性 福岡（築上）クロマツ 10 号
マツノザイセンチュウ抵抗性 長崎（諫早）クロマツ 1 号
マツノザイセンチュウ抵抗性 長崎（平戸）クロマツ 1 号
マツノザイセンチュウ抵抗性 大分（由布）クロマツ 1 号
マツノザイセンチュウ抵抗性 鹿児島（薩摩川内）クロマツ 1 号
マツノザイセンチュウ抵抗性 鹿児島（薩摩川内）クロマツ 4 号

※1：青森県、富山県及び林木育種センターが共同で開発

※2：青森県、富山県、東京都及び林木育種センターが共同で開発

※3：静岡県、神奈川県、東京都、富山県及び林木育種センターが共同で開発

※4：東京都、富山県、神奈川県、静岡県及び林木育種センターが共同で開発

※5：千葉県及び林木育種センターが共同で開発

※6：国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター品種開発実施要領「マツノザイセンチュウ抵抗性品種」の第5条の別表2に掲げるクローンを対照系統とし、第8条二のマツノザイセンチュウを用いて開発した品種である。